

A 雨の記録から考える

基礎～標準 1 | 解答・解説

記述は、表現が違っていても必要な内容と条件を満たしていれば正答です。

問1 形式段落

答え：ウ

解説 形式段落は改行と字下げなどで区切られたまとまり。この本文では①～⑥がそれぞれ一つの形式段落である。

問2 序論の役割

答え：ア

解説 ①は、雨の日をどう記録すれば比べられるかという問いを出している。

問3 段落のつながり

答え：イ

解説 ②で班の観察方法を示し、③でその記録から分かった違いを述べる。

問4 意味段落

答え：エ

解説 ②③は最初の観察、④⑤はその観察の限界と次の工夫をまとめている。

A 雨の記録から考える

基礎～標準 1 | 解答・解説 | つづき

問5 結論の役割

答え：イ

解説 ③は一週間の雨の具体例。⑥は、出来事を比べる記録全般に当てはまる考えへ広げている。

問6 接続の働き

答え：ア

解説 ④の限界を受けて、⑤でそれを補う工夫を提示する。

問7 段落と結論の関係 解答例 40字

解答例：昼休み以外の雨は見ておらず、限られた記録だけで一日全体を判断できないことを示す。

解説 ④で具体的な観察範囲の限界を示すから、⑥で未観察の内容を分ける必要が伝わる。

別解・許容 「記録は見た時間や場所に限られ、観察していない時間の雨は分からないことを示している。」も可。

採点の目安 「観察した時間・場所に記録が限られる」と「観察していない時間までは分からない」の関係を確認する。表現の一致は求めない。

問8 構成図

答え：ウ

解説 ①が問い、②③が観察例、④⑤がその検討、⑥が一般化したまとめである。

B 二つのお知らせ

基礎～標準 2 | 解答・解説

問1 主張の位置

答え：イ

解説 ①は問いを示すだけでなく、組み合わせるのがよいという筆者の主張も先に述べている。

問2 並列と対比

答え：エ

解説 どちらも知らせ方の利点を説明する段落で、扱う方法が紙と画面で異なる。

問3 離れた段落の関係

答え：ア

解説 ②は紙の利点、④は紙の課題。同じ対象について離れた段落で説明している。

問4 意味のまとまり

答え：ウ

解説 ②③は利点、④⑤は課題という共通の役割でまとまる。形式段落一つずつと意味のまとまりは一致しない。

問5 具体例の役割

答え：イ

解説 自分から調べようとしなくても、通りかかったときに知るきっかけになる例である。

B 二つのお知らせ

基礎～標準 2 | 解答・解説 | つづき

問6 接続語

答え：エ

解説 利点を認めたうえで、利点だけでは十分でないという課題へ進む。紙や画面の利点を全て否定するわけではない。

問7 まとめと主張の関係 解答例 41字

解答例：組み合わせるという考えを、紙に基本情報を載せ、画面で最新情報を示す工夫にしている。

解説 ①の一般的な主張を、⑥で紙と画面の具体的な役割分担として示す。

別解・許容 「二つの方法を生かす考えを、紙は基本情報、画面は最新情報という役割分担で示している。」も可。

採点の目安 ①の「組み合わせ」と、⑥の「紙に基本情報・画面に最新情報」という具体化の関係が必要。

問8 段落を省く影響 解答例 37字

解答例：紙と画面にはそれぞれ課題があり、一方だけでは十分に伝えられないという説明。

解説 利点だけでは、なぜ役割を分けて組み合わせるのかという必要性が弱くなる。

別解・許容 「一方の方法には補うべき弱点があり、役割を分けて組み合わせる必要があるという説明。」も可。

採点の目安 「それぞれに課題がある」と「一方だけでは不十分／組み合わせる必要」の二点を確認する。

C 紙飛行機を比べる順序

発展・応用 | 解答・解説

問1 段落の順序

答え：ウ

解説 問いを出すウ、最初の条件を示すア、その条件の結果と不足を示すエ、改善するイ、二度の試みをまとめるオの順になる。

問2 指示語のつながり

答え：ア

解説 アの、風のない場所・同じ人・同じ高さという条件を受けている。

問3 課題と改善

答え：エ

解説 エで紙の違いという課題が判明し、イで同じ厚さにして確かめ直す。

問4 結論を支える範囲

答え：イ

解説 最初の試みはアの方法とエの結果。二度目の試みはイに書かれている。

問5 段落の役割

答え：ウ

解説 エは最初の結果だけでなく、その結果を形だけの違いと判断できない課題を示す。

C 紙飛行機を比べる順序

発展・応用 | 解答・解説 | つづき

問6 文の挿入位置

答え：イ

解説 エで紙の違いに気付いたあとに、その意味を説明し、イのやり直しにつなぐ。

問7 構成の意味 解答例 37字

解答例：最初の実験に紙の違いが残り、その課題を直すために折り直したというつながり。

解説 エがなければ、「前の試みでそろっていなかった条件」が具体的に何だったのか分からない。

別解・許容 「紙の厚さがそろっていなかったため、同じ厚さの紙でやり直したという理由のつながり。」も可。

採点の目安 「紙の条件が違った課題」と「同じ紙で折り直す改善」が結び付いていればよい。

問8 意味段落の構成図 解答例 50字

解答例：ウは調べる問いを示し、ア・エ・イは二度の試みを述べ、オはそこから分かった実験の進め方をまとめるから。

解説 位置や長さではなく、問い・具体的な検討・一般化したまとめという役割で分ける。

別解・許容 「ウで実験の課題を出し、ア・エ・イで方法や問題と改善を説明し、オで条件を確かめる大切さをまとめるから。」も可。

採点の目安 ウ＝問い、ア・エ・イ＝実験や改善、オ＝一般化したまとめ、の三つの役割を確認する。

D 地図に残る道

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点

問6～8は内容を先に採点し、字数範囲外は各問1点減点します。同じ意味を表す言い換えは認めます。キーワードだけでなく、意味の関係を評価します。各問の下限は0点です。

問1 冒頭の役割 (10点)

答え：エ

解説 ①で地図を比べる有用性という主張と、その理由を先に示している。

問2 並列の関係 (10点)

答え：ア

解説 どちらも①の「地図を比べると変化が分かる」を支える異なる具体例である。

問3 対比の働き (10点)

答え：ウ

解説 地図を比べる利点を認めながら、分からないこともあるという限界を加える。

問4 課題と対応 (10点)

答え：イ

解説 ④で地図だけでは分からない限界を示し、⑤で別の資料や人の話による確認を提案する。

問5 意味段落 (10点)

答え：エ

解説 ①が基本の考え、②③が例、④⑤が限界と対応、⑥がまとめになる。

D 地図に残る道

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点 | つづき

問6 段落の要点〔10点〕 解答例 21字

解答例：地図を比べて分かる変化の具体例を示す役割。

解説 ②は川から道路、③は畑から住宅という変化。どちらも地図比較の利点を支える例である。

別解・許容 「①の考えを、地域の変化の例で具体的に示す役割。」も可。

採点の目安 内容10点：「変化が分かる／①の考えを支える」5点、「具体例を示す」5点。字数範囲外は1点減点、下限0点。

問7 まとめの深まり〔20点〕 解答例 49字

解答例：地図の比較は地域の変化を知るのに役立つだけでなく、さらに調べる問いを見つける入り口になると広げる。

解説 ①の変化を知る有用性に、⑥で新しい疑問から調べる活動の出発点という意味を加える。

別解・許容 「①では地域の変化を知る方法とし、⑥ではその変化をさらに調べるための問いを生む方法へ広げている。」も可。

採点の目安 内容20点：①の「地域の変化を知る」10点、⑥の「さらに調べる問いを生む」10点。字数範囲外は1点減点、下限0点。

問8 構成と主張〔20点〕 解答例 48字

解答例：地図だけで全て分かるとはせず、限界を補うために別の資料も使い、調べる手がかりとして活用する考え。

解説 ④の限界と⑤の補い方があるため、主張を「地図さえあれば十分」と強く受け取りすぎずにすむ。

別解・許容 「地図には分からないこともあるが、疑問を見つけるために使い、別の資料や話で確かめるという考え。」も可。

採点の目安 内容20点：「地図だけでは分からない限界」8点、「別の資料や人の話で補う」8点、「調査の手がかりとして活用」4点。字数範囲外は1点減点、下限0点。